

北陸地方建設事業推進協議会

平成24年度

「建設技術報告会」

実施報告書

平成24年12月

北陸地方建設事業推進協議会

「建設技術報告会」実行委員会

目次

1. 開催概要	
1) 目的	1
2) 開催日時	1
3) 開催場所	1
4) 構成と報告時間	3
5) 報告技術のテーマ	3
6) 主催構成機関及び実行委員会構成員	4
7) 聴講者数及び聴講者数の推移	5
2. 実施内容	
1) 開会式	6
2) 基調講演	6
3) 技術報告	6
4) 閉会式	7
5) 報告技術一覧	7
6) パネル展示コーナー	9
7) NETIS等登録技術コーナー	11
8) CPD/CPDS認証プログラム	13
3. 準備及び運営・設営	
1) スケジュール	14
2) 主な経緯	14
3) 運営体制	15
4) 会場設営	16
4. 広報	
1) 広報活動	20
2) 広報等掲載一覧	20
5. アンケート	
1) 設問内容	23
2) 配布・回収	23
3) アンケート結果概要	24
4) 設問別集計結果	25

1. 開催概要

1) 目的

「建設技術報告会」は、北陸地方における建設事業の円滑な推進を図るため、官公庁及び民間の建設会社において、新たに研究開発された新技術、新工法等を報告することにより、研究開発技術の普及を図る事を目的に開催されました。

本報告会は、平成7年度から開催され、今回で17回目の開催となりました。

2) 開催日時

■平成24年10月31日（水） 9時30分～16時40分

●受付
9時00分～16時00分 ホール棟 1階ホワイエ

●開会式
9時30分～ 9時40分 第1会場〔ホール棟 ホール〕
開会挨拶 北陸地方整備局 企画部長 木村 邦久

●基調講演
9時40分～10時40分 第1会場〔ホール棟 ホール〕
演題 最近の国土交通行政の取り組みについて
講演者 北陸地方整備局 企画部 技術調整管理官 蚊爪 利之

●技術報告（分科会方式）
10時50分～16時20分
第1会場 ホール棟 ホール
第2会場 会議・展示棟 2階 大集会室

●閉会式
16時30分～16時40分 第1会場〔ホール棟 ホール〕
総評、閉会挨拶 平成24年度「建設技術報告会」実行委員長 古川 正幸
(北陸地方整備局 北陸技術事務所長)

閉会式終了後の16時40分からホール棟 ホールで「CPD/CPDS」の受講証明書の発行を行いました。

3) 開催場所

■会場施設

金沢市文化ホール

住所：〒920-0864 金沢市高岡町15番1号

TEL：076-223-1221

URL：<http://www.bunka-h.gr.jp/>

施設駐車場：なし

■使用会場

- ホール [ホール棟 1階] 第1会場：開会式・基調講演・技術報告・閉会式
聴講席：560席（シアター 技術報告時312席）
- 大集会室 [会議・展示棟2階] 第2会場：技術報告
聴講席：219席（スクール84席、シアター135席）
- ホワイエ [ホール棟 1階] パネル展示コーナー／NETIS等登録技術コーナー
- 楽屋2 [ホール棟 1階] 来賓・講師控室
- 楽屋1・2 [ホール棟 1階] 事務局控室（運営スタッフ昼食時）

■交通アクセス

◆金沢駅より

- ・東口バスターミナルから路線バスで15分
金沢駅前（東口バスターミナル）7～9番のりばより「南町」下車 徒歩約3分
- ・タクシーで約10分

◆小松空港より

- ・空港連絡バスで約60分
「香林坊」下車 徒歩約5分



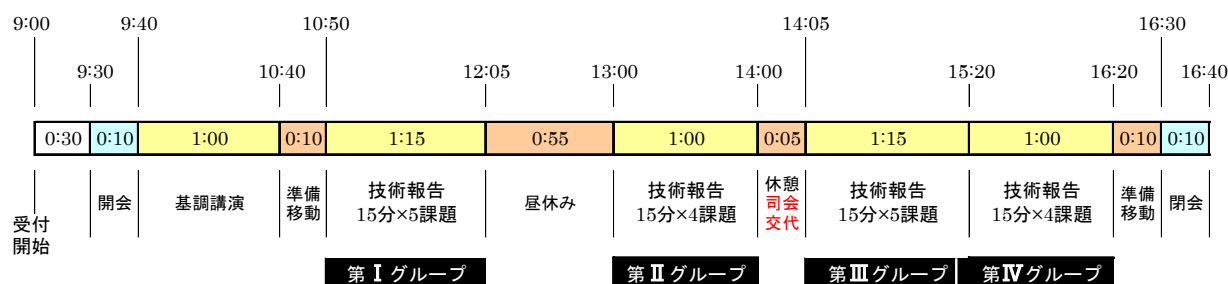
4) 構成と報告時間

基調講演と技術報告の2部構成とし、技術報告は2会場の分科会方式とした。

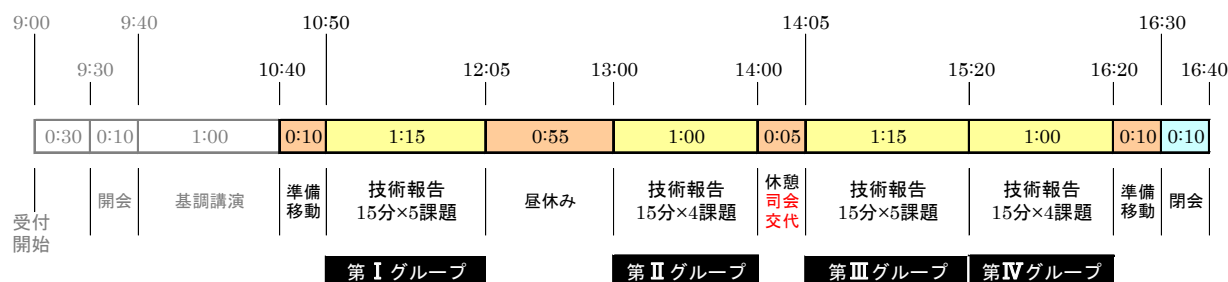
報告時間は「発表者入替」「プレゼンター立ち上げ」「質疑応答」を含めて1技術15分とし、1技術の報告終了毎に概ね3分間の質疑・応答時間を設けた。

技術報告：36技術（1技術×15分 質疑・応答含む）、基調講演：60分、昼休み：55分、休憩：5分

■第1会場：ホール（1F）



■第2会場：大集会室（2F）



5) 報告技術のテーマ

北陸地方の建設技術の基本課題のテーマ（5テーマ）に「その他」を含めた6テーマの分類により、合計36技術の技術報告を行った。テーマ別報告技術数は以下のとおりである。

- ①雪に強い地域づくり 3技術
（克雪対策、冬期道路交通の安全確保・安全性に関する新技術 等）
- ②良いものを安く 9技術
（生産性向上、コスト削減、省力化に関する新技術 等）
- ③自然災害からの安全確保 7技術
（危機管理、土石流などの防災に関する新技術 等）
- ④環境の保全と創造 6技術
（建設副産物、リサイクル、省エネルギーに関する新技術 等）
- ⑤ゆとりと福祉 2技術
（情報化、バリアフリーに関する新技術 等）
- ⑥その他 9技術
（上記①～⑤に属さない新技術 等）

合計：36技術

6) 主催構成機関及び実行委員会構成員

■主催構成機関

主催は、『北陸地方建設事業推進協議会 平成24年度「建設技術報告会」実行委員会』である。
以下に実行委員会の構成機関（23機関）を示す。

北陸地方整備局／新潟県／富山県／石川県／新潟市／東日本高速道路(株)新潟支社／ 中日本高速道路(株)金沢支社／(社)日本建設業連合会北陸支部／ (一社)日本道路建設業協会北陸支部／(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部／ (一社)日本建設機械施工協会北陸支部／(社)新潟県建設業協会／(社)富山県建設業協会／ (社)石川県建設業協会／北陸土木コンクリート製品技術協会／ (社)プレストレスト・コンクリート建設業協会北陸支部／北陸PC防雪技術協会／ (社)新潟県融雪技術協会／(財)新潟県建設技術センター／北陸地質調査業協会／ (社)日本埋立浚渫協会北陸支部／(社)北陸建設弘済会／(一社)日本橋梁建設協会北陸事務所
--

■実行委員会構成員

役員	所属	役職	備考
委員長	北陸地方整備局 北陸技術事務所	事務所長	
副委員長	北陸地方整備局 新潟港湾空港技術調査事務所	事務所長	
委員	北陸地方整備局 企画部 施工企画課	課長	
委員	北陸地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課	課長	
委員	新潟県 土木部 技術管理課	土木工事検査監	会計監査員
委員	富山県 土木部 建設技術企画課	技術指導係長	
委員	石川県 土木部 監理課 技術管理室	課参事	
委員	新潟市 都市政策部技術管理センター 工事検査課	課長	
委員	東日本高速道路(株)新潟支社 総合企画部 技術企画課	課長代理	
委員	中日本高速道路(株)金沢支社 総務企画部 企画調整チーム	サブリーダー	
委員	(社)日本建設業連合会 北陸支部	契約積算・技術副委員長	
委員	(一社)日本道路建設業協会 北陸支部	幹事長	
委員	(一社)日本建設機械施工協会 北陸支部	普及部会担当委員	
委員	(一社)建設コンサルタンツ協会 北陸支部	広報部会広報委員長	
委員	(社)新潟県建設業協会	業務部長	
委員	(社)富山県建設業協会	常務理事	
委員	(社)石川県建設業協会	参与	
委員	北陸土木コンクリート製品技術協会	技術委員長	
委員	(社)プレストレスト・コンクリート建設業協会 北陸支部	広報部会長	
委員	北陸PC防雪技術協会	事務局長	
委員	(社)新潟県融雪技術協会	技術委員長	
委員	(財)新潟県建設技術センター	情報管理部長	
委員	北陸地質調査業協会	事務局長	
委員	(社)日本埋立浚渫協会 北陸支部	技術委員長	
委員	(社)北陸建設弘済会 技術部	事業調査室長	
委員	(一社)日本橋梁建設協会 北陸事務所	所長	

7) 聴講者数及び聴講者数の推移

■聴講者数

本年度の聴講申込人数及び聴講実績人数は下表のとおりである。

【平成24年度「建設技術報告会」 聴講者集計表】

機関・団体名		申込	実績
官公庁	国交省、新潟県、石川県、富山県、金沢市、石川県市町村他	163	162
民間		353	302
発表者(官公庁)		3	3
発表者(民間)		31	31
報道		0	3
合計		550	501

■「建設技術報告会」聴講者数の推移

【「建設技術報告会」聴講者数（第1回～第17回）】

開催年 内訳	1995年	1996年	1997年	1998年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	
国土交通省等	39	68	112	94	100	89	72	72	80	105	45	47	33	47	43	67	65	
自治体	39	202	116	129	69	86	87	50	31	34	18	29	24	23	49	24	100	
民間（協会等）	189	373	430	206	364	401	471	354	360	319	278	302	404	343	459	411	336	
学校	0	0	0	0	0	3	0	35	7	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	267	643	658	429	533	579	630	511	478	458	341	378	461	413	551	502	501	
開催地	新潟市	富山市	新潟市	金沢市	新潟市	富山市	新潟市	金沢市	新潟市					富山市	新潟市	金沢市		

注) 1. 発表者（官公庁）は国交省等に、発表者（民間）及び報道関係者は、「民間（協会等）」に含む。

2. 「自治体」には、市町村関係者を含む。



第1会場



第2会場

2. 実施内容

1) 開会式

時 間：9時30分～9時40分
会 場：第1会場〔ホール棟 ホール〕
開会挨拶：北陸地方整備局 企画部長 木村 邦久
司 会：北陸技術事務所 副所長 樋口 昌幸



2) 基調講演

時 間：9時40分～10時40分
会 場：第1会場〔ホール棟 ホール〕
演 題：最近の国土交通行政の取り組みについて
講 演 者：北陸地方整備局 企画部
技術調整管理官 蚊爪 利之
司 会：北陸技術事務所 副所長 樋口 昌幸



3) 技術報告

時 間：10時50分～16時20分
会 場：第1会場〔ホール棟 ホール〕 18技術
第2会場〔会議・展示棟 大集会室〕 18技術
司 会：第1会場 (社)日本建設業連合会 北陸支部 (鹿島建設株) 山崎 久義
北陸地方整備局 企画部 施工企画課 課長補佐 堀内 崇志
第2会場 (一社)日本道路建設業協会 北陸支部 (北川ヒューテック株) 村上 茂治
北陸地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課 課長補佐 松井 康彦



第1会場 報告状況



第2会場 報告状況

4) 閉会式

時 間：16時30分～16時40分
 会 場：第1会場〔ホール棟 ホール〕
 閉会挨拶：「建設技術報告会」実行委員長 古川 正幸
 （北陸地方整備局 北陸技術事務所長）
 司 会：北陸技術事務所 副所長 樋口 昌幸



5) 報告技術一覧

報告技術の募集を5月21日から開始し、36技術の応募があった。
 技術報告は以下の36技術である。

【報告技術一覧表（主催機関・団体別）】

（その1）

主催機関・団体名	テーマ番号	報告技術名	機関・会社名・所属
国土交通省	②	情報化施工に関する取り組みについて（報告）	北陸地方整備局 企画部 施工企画課
	②	海岸護岸の越波抑制に資する新たな工法の研究	北陸地方整備局 新潟港湾空港技術調査事務所 設計室
石川県	⑥	石川県建設新技術認定・活用制度	土木部 監理課技術管理室
中日本高速道路(株) 金沢支社	⑥	北陸自動車道 白山インターチェンジの開通	金沢支社 金沢保全・サービスセンター
(社) 日本建設業連合会 北陸支部	②	山岳トンネルにおける新覆工コンクリート養生技術の適用事例の報告	(株)奥村組 東日本支社 土木技術部 技術1課
	③	「タフロード®工法」（液状化地盤上道路の変状防止対策）	(株)大林組 生産技術本部 技術第二部
	③	1000mの長距離圧送を実現した高強度モルタル吹付『キロ・フケール工法』	日特建設(株) 技術本部
	③	河川堤防の耐震対策技術 — SAVE コンボ®-ガード工法・SAVE-SP工法 —	(株)不動テトラ 北関東支店 研究室
	④	鋼殻吊降ろし式ニューマチックケーソン工法	鹿島・大本異工種建設工事共同企業体 揚川橋工事事務所
	④	ガラリクリート工法の開発と適用	清水建設(株) 土木技術本部基盤技術部
	④	コンクリート系がれきの有効利用技術	大成建設(株) 技術センター 土木技術 研究所
	⑥	維持管理のための構造物トレーサビリティシステム	(株)間組 経営企画部 情報システム グループ
	⑥	液状化対策工法(浸透固化処理工法、DEPP工法)	五洋建設(株) 技術研究所
	⑥	水中不分離可塑性グラウトによる充填補修補強工法『パフェグラウト工法』	日特建設(株) 技術本部
	⑥	マルチジェット工法(自由形状・大口径高圧噴射攪拌工法)	前田建設工業(株) 土木設計・技術部 設計第2グループ
⑥	S I M A R工法(吸水型振動棒締め工法)	前田建設工業(株) 土木設計・技術部 設計第2グループ	

(その2)

主催機関・団体名	テーマ番号	報告技術名	機関・会社名・所属
(一社)日本道路建設業協会 北陸支部	①	積雪路面でも居眠り防止効果のある切削型注意喚起舗装	株NIPPO 生産技術機械部 生産技術グループ
	②	耐久性を考慮した加熱アスファルト系表面処理工法の開発	日本道路株 生産技術本部 技術グループ
	②	Fi-mix 工法(自然石舗装用モルタル工法)の開発と施工事例	大林道路株 技術研究所
	④	多機能型排水性舗装(フル・ファンクション・ペーブ)の特長	株ガイアート T・K 技術研究所
	④	再生中温化アスファルト混合物の適用性検討	鹿島道路株 技術研究所
	⑤	切削オーバーレイ工事における情報化施工の適用	世紀東急工業株 技術部
(社)石川県建設業協会	④	下水汚泥焼却灰の安定化処理とアスファルトフィラー化	株金沢舗道 生産部
(一社)建設コンサルタント協会 北陸支部	②	打ち込み式水位観測井	応用地質株 北陸支店
(一社)日本建設機械施工協会 北陸支部	①	雪崩検知システムの開発	株興和 水工部
北陸土木コンクリート製品技術協会	③	れんか(土留エブロック)	株アドヴァンス 事業本部 営業部
	⑤	「あんしんバリアー工法」振動機能付側溝	株ミルコン 技術部 技術営業課
(社)プレストレスト・コンクリート建設業協会	⑥	桁端狭隘部の調査・補修工法 -NSRV工法-	株ピーエス三菱 技術本部 技術部 開発メンテナンスグループ
北陸 PC 防雪技術協会	②	取替用高強度軽量プレキャスト床版(HSLスラブ)	株IHI インフラ建設 PC 事業部
	③	ゼロハチフェンス(エネルギー緩衝リング付落石防護フェンス)の開発	日本サミコン株 技術部
(社)新潟県融雪技術協会	①	鋼床版橋への温水循環式無散水融雪の適用	株興和 水工部
北陸地質調査業協会	③	ピエゾドライブコーン(液状化ポテンシャルサウンディング)	応用地質株 エンジニアリング本部
(社)日本埋立浚渫協会 北陸支部	③	バルーングラウト工法	東亜建設工業株 土木事業本部 エンジニアリング事業部
	⑥	クレーン作業安全誘導システムの開発	株本間組 土木事業本部土木部
(社)北陸建設弘済会	②	ジオテキスタイル二重壁補強土壁工法設計・施工マニュアルの改訂	アテムウォール協会
(一社)日本橋梁建設協会	②	鋼橋の制震技術の最前線	株横河ブリッジホールディングス 総合技術研究所

注) テーマ番号 ① 雪に強い地域づくり ② 良いものを安く ③ 自然災害からの安全確保
④ 環境の保全と創造 ⑤ ゆとりと福祉 ⑥ その他

6) パネル展示コーナー

主催機関の傘下会社で開発された新技術・新工法などを対象に技術パネルの展示コーナーを併設した。
 なお、技術パネルの展示は展示希望を募り、展示希望のあった31技術のパネルの展示及び技術パネルの紹介パンフレットの配布を行った。

時 間：9時00分～16時00分
 会 場：ホール棟 1階 ホワイエ

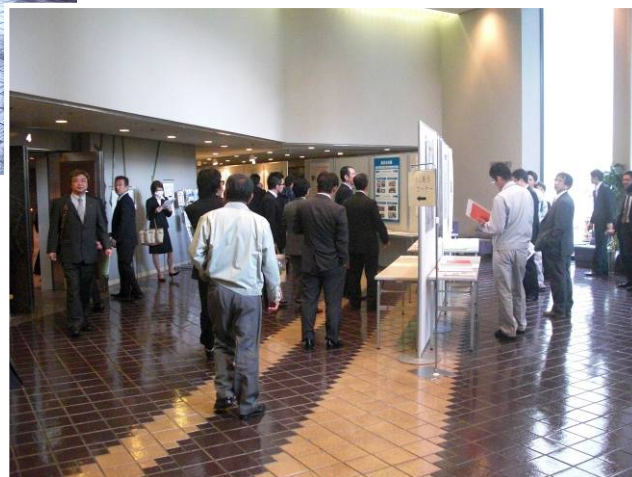
【パネル展示一覧表】

(その1)

No.	技 術 名	機関・会社名・所属	パンフ
国土交通省 北陸地方整備局			
1	NETIS (新技術情報提供システム)	北陸技術事務所 技術情報管理官	1
石川県			
2	石川県建設新技術認定・活用制度	土木部 監理課 技術管理室	1
中日本高速道路㈱ 金沢支社			
3	RC連結ジョイント	中日本ハイウェイ・エンジニアリング 名古屋㈱ 金沢支店 企画総務部 企画課	1
(社) 日本建設業連合会 北陸支部			
4	維持管理のための構造物トレーサビリティシステム	(株)間組 経営企画部 情報システムグループ	1
5	浸透固化処理工法	五洋建設㈱ 技術研究所	1
6	コンクリート系がれきの有効利用技術	大成建設㈱ 技術センター 土木技術研究所	0
7	マルチジェット工法(自由形状・大口径高圧噴射攪拌工法)	前田建設工業㈱ 土木設計・技術部 設計第2グループ	1
8	液状化対策技術 (GEOPASTA 工法、CurveX 工法)	鹿島建設㈱ 北陸支店営業部	1
9	軽量緑化パネル工法	(株)植木組 建設技術センター 環境エンジニアリング課	1
10	タフロード工法	(株)大林組 北陸支店 土木工事部事務課	1
11	キロ・フケール工法	日特建設㈱ 技術本部	1
12	河川堤防の耐震対策技術—SAVE コホ-ザ-工法・SAVE-SP工法—	(株)不動テトラ 北陸支店	1
13	イーザーラーメン橋(H鋼桁埋込RC複合門形ラーメン橋)	(株)加賀田組 新潟支店 土木事業部 技術部	1
(一社) 日本道路建設業協会 北陸支部			
14	加熱アスファルト系表面処理工法 (リフレッシュシール Mixハード)	日本道路㈱ 北信越支店 営業部	1
15	積雪路面でも居眠り防止効果のある切削型注意喚起舗装	(株)NIPPO 北信越支店 技術センター	1
16	グレーチングストッパーSP	丸運建設㈱ 事業開発室	1
17	HS アスコン	東亜道路工業㈱ 北陸支社 技術部	1
18	多機能型排水性舗装 (フル・ファンクション・ベープ)	(株)ガイアート T・K 北陸支店	1
19	ヒートスティック工法	鹿島道路㈱ 北陸支店 工事部技術課	1
(社) 石川県建設業協会			
20	下水污泥焼却灰の安定化処理とアスファルトフィラー化	(株)金沢舗道 生産部	1
(一社) 建設コンサルタンツ協会 北陸支部			
21	打ち込み式水位観測井	応用地質㈱ 新潟支店	1

(その2)

No.	技 術 名	機関・会社名・所属	パンフ
北陸土木コンクリート製品技術協会			
22	コニカルマット工法(地盤補強円錐ブロックマット工法)	(株)アドヴァンス 営業部	1
23	「あんしんバリアー工法」振動機能付側溝	(株)ミルコン 技術部 技術営業課	1
北陸 PC 防雪技術協会			
24	取替用高強度軽量プレキャスト床版 (HSL スラブ)	(株)IHI インフラ建設 新潟営業所	1
25	PC 組立歩道	日本サミコン(株) 企画管理部	1
北陸地質調査業協会			
26	ピエゾドライブコーン(間隙水圧を測定する動的貫入試験)	応用地質(株) 新潟支店	1
(社) 日本埋立浚渫協会 北陸支部			
27	KS-S・MIX 工法	あおみ建設(株) 北陸支店 営業部	1
28	油圧ハンマ打撃音低減装置	東亜建設工業(株) 北陸支店 土木事業部 技術課	1
29	ケーソン中詰材撤去システム	(株)本間組 土木事業本部 技術部	1
(社) 北陸建設弘済会			
30	二重壁構造を持つジオテキスタイル補強土壁「アダムウォール」	ジオテキスタイル二重壁補強土壁工法検討委員会(アダムウォール協会)	1
31	W/Cミータ	(社) 北陸建設弘済会 技術部	1
パンフレット数 合計			30



パネル展示コーナー

7) NETIS等登録コーナー

「新技術情報提供システム（NETIS）」及び「Made in 新潟 新技術普及・活用制度」などの登録技術を対象にパンフレット配布による技術紹介コーナーを併設した。

なお、パンフレットは配布希望を募り、希望のあった39技術の紹介パンフレットを配布した。

時 間：9時00分～16時30分

会 場：ホール棟 1階 ホワイエ

【NETIS等登録技術一覧表】

(その1)

No.	技術名	会社名・所属	登録機関名 ^{注)}	登録番号
(社) 日本建設業連合会 北陸支部				
1	維持管理のための構造物トレーサビリティシステム	(株)間組 経営企画部 情報システムグループ	国土交通省	KK-110010
2	浸透固化処理工法	五洋建設(株) 技術研究所	国土交通省	KT-990230
3	SIMAR工法(吸水型振動棒締め工法)	前田建設工業(株) 土木設計・技術部設計第2グループ	国土交通省	TH-990039
4	軽量緑化パネル工法	(株)植木組 建設技術センター 環境エンジニアリング課	国土交通省	HR-050031
5	2段タイ材地下施工法	(株)大林組 北陸支店 土木工事部事務課	国土交通省	THK-090001
6	パフェグラウト工法	日特建設(株) 技術本部	国土交通省	KT-090052
7	ジオファイバー工法		国土交通省	KT-980183
8	ニューレスプ工法		国土交通省	QS-110014
9	Licos		国土交通省	SK-100011
10	エキスパッカ-N工法		国土交通省	KK-080040
11	河川堤防の耐震対策技術-SAVE コンポジット工法・SAVE-SP工法	(株)不動テトラ 北陸支店	国土交通省	CB-980039
12	イーリースラブ橋(H鋼桁床版橋)	(株)加賀田組 新潟支店 土木事業部 技術部	国土交通省 石川県	HR-020028 1
(社) 日本道路建設業協会 北陸支部				
13	セミホットペープ	日本道路(株) 北信越支店 営業部	国土交通省	QS-040029
14	スーパーEpo グース		国土交通省	CB-100025
15	アメニウレタン舗装		国土交通省	TH-990054
16	パーピアスクリーン	(株)NIPPO 北信越支店 技術センター	国土交通省	KT-050072
17	クールパーピアス		国土交通省	TH-020057
18	エコファイン		国土交通省	CB-980017
19	グレーチングストッパー-SP	丸運建設(株) 事業開発室	国土交通省 新潟県	HR-050026 18D1045
20	グレーチングストッパー		国土交通省 新潟県	HR-030035 18D1044
21	ECO バインダーシリーズ	東亜道路工業(株) 北陸支社 技術部	国土交通省	KT-100013

(その2)

No.	技術名	会社名・所属	登録機関名 ^{注)}	登録番号
(社) 石川県建設業協会				
22	リビルドアスコン	(株)金沢舗道 生産部	国土交通省	HR-080025
(一社) 建設コンサルタンツ協会 北陸支部				
23	打ち込み式水位観測井	応用地質(株) 新潟支店	国土交通省	TH-110007
北陸土木コンクリート製品技術協会				
24	れんか(土留工ブロック)	(株)アドヴァンス 営業部	新潟県	23D1005
25	AKYパネル		国土交通省 新潟県	HR-070014 21D1013
26	車両用防護柵基礎一体型プレキャストL型擁壁(Gr・L擁壁)		国土交通省	QS-030051
27	再帰反射性水性塗料(ブライトコート)		国土交通省 石川県	HR-070013 第5号
28	「あんしんバリアー工法」振動機能付側溝	(株)ミルコン 技術部 技術営業課	国土交通省	HR-110017
北陸PC防雪技術協会				
29	取替用高強度軽量プレキャスト床版(HSLスラブ)	(株)IHI インフラ建設 新潟営業所	国土交通省	KT-010080
30	支柱脚部改良型鋼製吊柵	日本サミコン(株) 企画管理部	新潟県	20D1017
31	ゼロハチフェンス		国土交通省	HR-110025
北陸地質調査業協会				
32	ピエゾドライブコーン(間隙水圧を測定する動的貫入試験)	応用地質(株) 新潟支店	国土交通省	TH-100032
(社) 日本埋立浚渫協会 北陸支部				
33	KS-S・MIX工法	あおみ建設(株) 北陸支店 営業部	国土交通省	KK-100054
34	KS-EGG工法		国土交通省	CG-010009
35	マルチサクシオン ドレイン工法	東亜建設工業(株) 北陸支店 土木事業部 技術課	国土交通省	CB-110035
36	潜水土安全支援システム	(株)本間組 土木事業本部 技術部	国土交通省	HRK-100001
37	HONMA函体据付システム		国土交通省	HRK-110002
(社) 北陸建設弘済会				
38	二重壁構造を持つジオテキスタイル補強土壁「アダムウォール」	ジオテキスタイル二重壁補強土壁工法検討委員会(アダムウォール協会)	国土交通省	KK-020061
39	W/Cミータ	(社) 北陸建設弘済会 技術部	国土交通省	HR-990025

注) 国土交通省－「新技術情報提供システム(NETIS)」
 新潟県－「Made in 新潟 新技術普及・活用制度」
 石川県－「石川県 建設新技術認定・活用制度」



NETIS等登録コーナー

8) CPD/CPDS認証プログラム

社会資本整備に携わる建設技術者の技術力向上の場として、本報告会を積極的に活用していただくことを目的に、平成20年度より建設系CPD協議会による「CPD（継続教育）」プログラム及び社団法人全国土木施工管理技士会連合会による「CPDS（継続学習制度）」の認定講習となっており、その対象者への受講証明の交付を行った。交付数は聴講者全体の37%（187/501）、民間聴講者の52%（176/336）であった。

■受講受付

時間：9時00分～10時00分
 場所：ホール棟 1階 ホワイエ
 聴講受付—受講証明書引換券配付

■受講証明発行

時間：16時40分～17時00分
 場所：：ホール棟 1階 ホワイエ
 CPD/CPDS 受付—引換券により受講証明書発行

平成24年度 受講証明書交付数：187人（CPD—60人 CPDS—127人）

建設系CPD協議会によるCPD（継続教育）
 受講証を申し込まれた方へ

北陸地方建設事業推進協議会
 平成24年度「建設技術報告会」

受講証明書 引換券

CPD（継続教育）

受講証明書発行 閉会式終了後（16時40分～17時00分）

平成24年度「建設技術報告会」実行委員会

CPD 受講証明書 引換券

(社)全国土木施工管理技士会連合会のCPDS（継続学習制度）
 受講証を申し込まれた方へ

北陸地方建設事業推進協議会
 平成24年度「建設技術報告会」

受講証明書 引換券

CPDS（継続学習制度）

受講証明書発行 閉会式終了後（16時40分～17時00分）

平成24年度「建設技術報告会」実行委員会

CPDS 受講証明書 引換券

建設系CPD協議会加盟団体主催CPD申請書・受講証明書

建設系CPD協議会加盟団体の主催する講習会受講記録を、地盤工学会、全国土木施工管理技士会連合会、農業農村工学会のいずれかにCPD申請する場合は、以下の内容を記入して、プログラム開催主催者の受講証明印をもらった上で団体事務局あてに送付（FAX）してCPD申請を行ってください。

項目名	申請内容
申請日	年 月 日
申請者名	
会社名等	
会社住所等	
TEL	
FAX	
所属団体（学会）名	
会員番号	
開催日	平成24年10月31日
CPDプログラム名称	平成24年度「建設技術報告会」 CPDプログラム番号：201208090006
主催者	平成24年度「建設技術報告会」実行委員会
開始～終了時間	9時30分～16時40分
CPD単位	6単位
開催地	石川県金沢市高岡町15番1号 金沢市文化ホール

【CPDプログラム主催者の方へお願い】
 プログラム名、開催日、受講者氏名をご確認の上、証明団体をご記入して証明印をお願いいたします。

証明団体名 平成24年度「建設技術報告会」実行委員会

※CPD記録申請にあたって本受講証明が必要となる団体
 地盤工学会、全国土木施工管理技士会連合会、農業農村工学会

CPD 受講証明書

No.

受講証明書

受講者名 又は 通し番号	
プログラム名称	平成24年度「建設技術報告会」
プログラム番号	188957 ユニット数 6 unit
講習日	2012年10月31日
講習時間	9:30～16:40
講習会場	【石川県】金沢市文化ホール

上記の者について、講習会を受講したことを証明します。

2012年10月31日

主催：北陸地方整備局北陸技術事務所

平成24年度「建設技術報告会」実行委員会

CPDS 受講証明書

3. 準備及び運営・設営

1) スケジュール

平成24年度「建設技術報告会」は、下記のとおり実施した。

北陸地方建設事業推進協議会 平成24年度「建設技術報告会」運営スケジュール

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
実行委員会等											
北陸地方建設事業推進協議会 運営委員会	● 2/15										
実行委員会事前準備											
会計監査											
実行委員会				● 5/18							● 12/5
協議・決定事項等	<ul style="list-style-type: none"> ・規約(案)の協議・承認 ・実施計画(案)の協議・承認 ・予算(案)の協議・承認 									<ul style="list-style-type: none"> ・実施状況報告 ・決算報告 	
報告技術募集及び原稿作成等											
案内原稿作成(チラシ)				報告技術募集			聴講募集用				
ホームページ開設・運営				作成	報文等募集		聴講募集		作成	開催結果	
報告技術募集・取りまとめ (主催機関)				5/21	6/29		8/24	9/28		11/9	
報告技術検討・選定						7/2	7/20				
採否通知 (事務局)							● 7/20				
報告論文原稿作成・提出 (報告技術発表者)						7/20	8/10				
プレゼンデータ作成・提出 (報告技術発表者)						7/20	9/14				
パネル展示募集・取りまとめ (主催機関)				5/21	6/29						
NETIS等登録技術パンフレット配布募集・ 取りまとめ(主催機関等)				5/21	6/29						
聴講募集(主催機関等)							8/24	9/28			
報告論文集(CD版)作成										作成	
その他											
記念講演者依頼・報道投込み				基調講演者選定 及び依頼						● 10/22	
CPD/CPDS登録申請							CPD CPDS				
報告会開催										● 10/31	

2) 主な経緯

会議名等	実施日時	会場	内容
平成24年度 北陸地方建設事業推進協議会運営委員会	平成24年2月15日(水)	北陸地方整備局 4階 会議室	「建設技術報告会」の開催承認
平成24年度「建設技術報告会」 第1回実行委員会	平成24年5月18日(金) 14時00分～15時30分	北陸技術事務所 会議室	規約(案)の協議・承認 実施計画(案)の協議・承認 予算(案)の協議・承認
平成24年度「建設技術報告会」開催	平成24年10月31日(水) 9時00分～17時00分	金沢市文化ホール ホール棟 ホール 会議・展示棟 大集会室	報告会開催
平成24年度「建設技術報告会」 第2回実行委員会	平成24年12月5日(水) 14時00分～15時30分	北陸技術事務所 会議室	実施結果報告 会計報告 次回開催について

3) 運営体制

報告会当日は、主催構成機関・団体からの運営スタッフ及び会場施設スタッフの33名（官：13名、民：19名、開催会場1名）の協力により実施した。

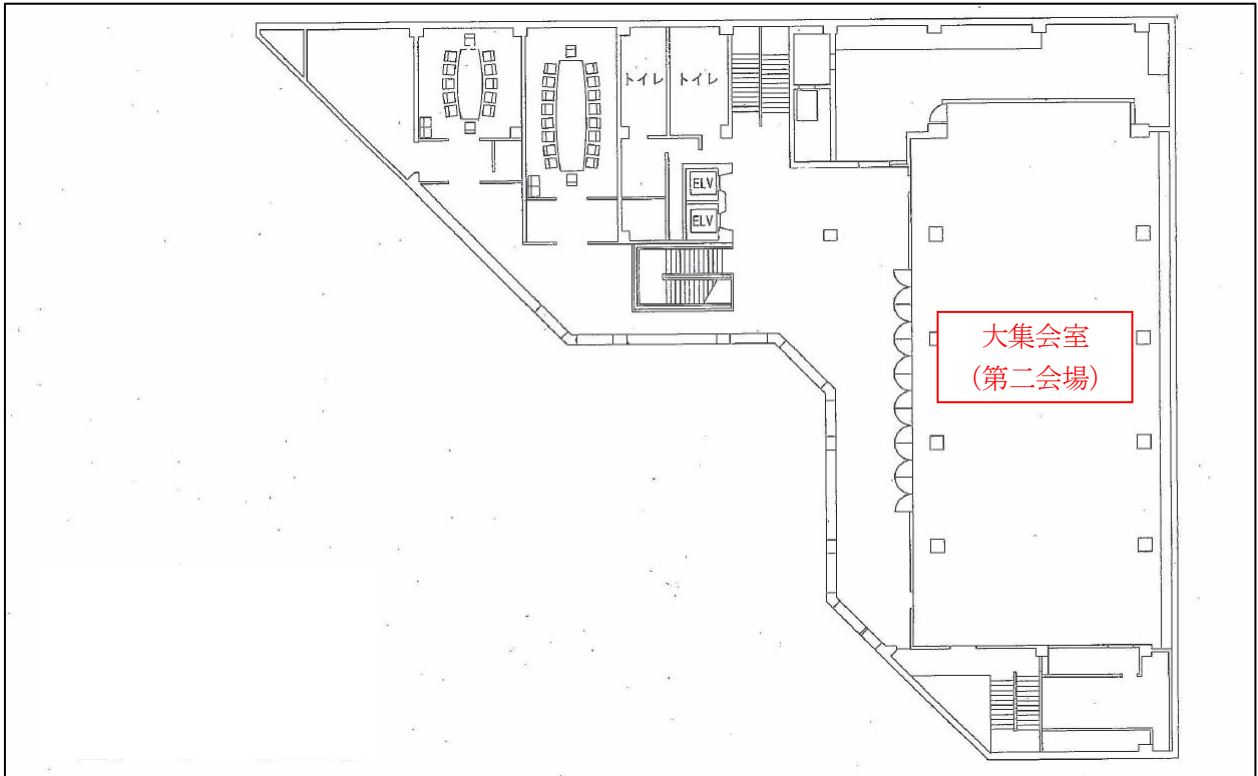
【運営体制表】

担当・対応時間・会場等		運営人員	北陸地方整備局 13人	石川県 6人	石川建設 4人	日建連 3人	道建協 3人	機械協 1人	埋没協 2人	施設会場担当 1人	
受付係	聴講受付	9:00-16:40 受付開始→ 閉会終了 (終日)	4		竹松 博 細沼 宏之	原 陽子	平本 慶枝				
		9:00-10:40 受付開始→ 講演終了	8		浜崎 進 吉元 研司	古山 昭夫 小川 信一	山田 智佳子	谷口 克也 橋谷 達也	坪内 昭雄		
	CPD/CPDS 受付	9:00-17:00 受付開始→ 最終 (終日)	2	関口 忠志 鈴木 智憲							
		16:40-17:00 閉会終了→ 最終	3	山本 茂樹 (森越 健二) (長谷川 学)							
技術報告	司会係	10:50-14:00 (I・II) 第1会場	1				山崎 久義				
		14:05-16:20 (III・IV)	1	堀内 崇志							
		10:50-14:00 (I・II) 第2会場	1					村上 茂治			
		14:05-16:20 (III・IV)	1	松井 康彦							
	時間管理係	10:50-14:00 (I・II) 第1会場	1			(古山 昭夫)					
		14:05-16:20 (III・IV)	1		(浜崎 進)						
		10:50-14:00 (I・II) 第2会場	1				(山田 智佳子)				
		14:05-16:20 (III・IV)	1		(吉元 研司)						
	パソコン係	10:50-16:20 第1会場	1		上田 俊朗						
		第2会場	1		神崎 暁史						
	マイク受渡係	10:50-16:20 第1会場	4		(上田 俊朗)	(小川 信一)			谷口 克也		
		第2会場	2		(神崎 暁史)	憲山 統			橋谷 達也		
会場照明係	9:30-16:40 第1会場	1							施設会場担当		
	10:50-16:20 第2会場	1						(坪内 昭雄)			
写真係	9:00-10:40 全体 (開会・講演)	2							(本間 義信) (阿部 宏之)		
	10:50-16:20 第1会場 第2会場	2							本間 義信 阿部 宏之		
事務局	総合司会	9:30-9:40 開会式 9:40-10:40 基調講演 16:30-16:40 閉会式	1	樋口 昌幸							
	来賓対応	9:00-11:00	1	柴澤 一嘉							
	マスコット	11:00~16:40		(柴澤 一嘉)							
		10:40~16:30 受付常駐	3	(樋口 昌幸)							
	連絡調整係	8:00-17:00	1	田村 孝夫							
	全体写真係 (実施状況・開閉会・基調講演)	8:00-17:00	1	加藤 学							
	運営設営係	9:40 10:40-10:50 16:20-16:30	4	森越 健二 長谷川 学 小浦方 一彦 田村 真美							
		16:00-16:30 Uトル搬取	2	(田村 孝夫) (加藤 学) 会場設営委託者							
接遇係	8:30-11:00	0									

機関・団体別 スタッフ人数

国土交通省 北陸地方整備局					主催 協力機関・団体							その他	合計
企画部 施工企画課	港湾空港部 海洋環境・ 技術課	新潟 技調	北陸 技術	小計	石川県	石建協	日建連	道建協	機械協	埋没協	小計	会場 スタッフ	
3	2	2	6	13	6	4	3	3	1	2	19	1	33

○会議・展示棟（2階）フロアマップ
 会議・展示棟に、「第2会場」を配置した。



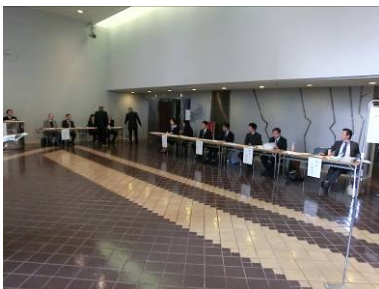
催事案内



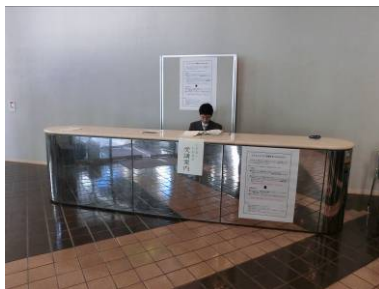
第1会場



第2会場



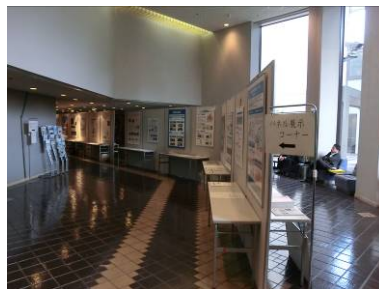
聴講受付



CPD/CPDS 受付



受付状況



パネル展示・
NETIS等紹介コーナー



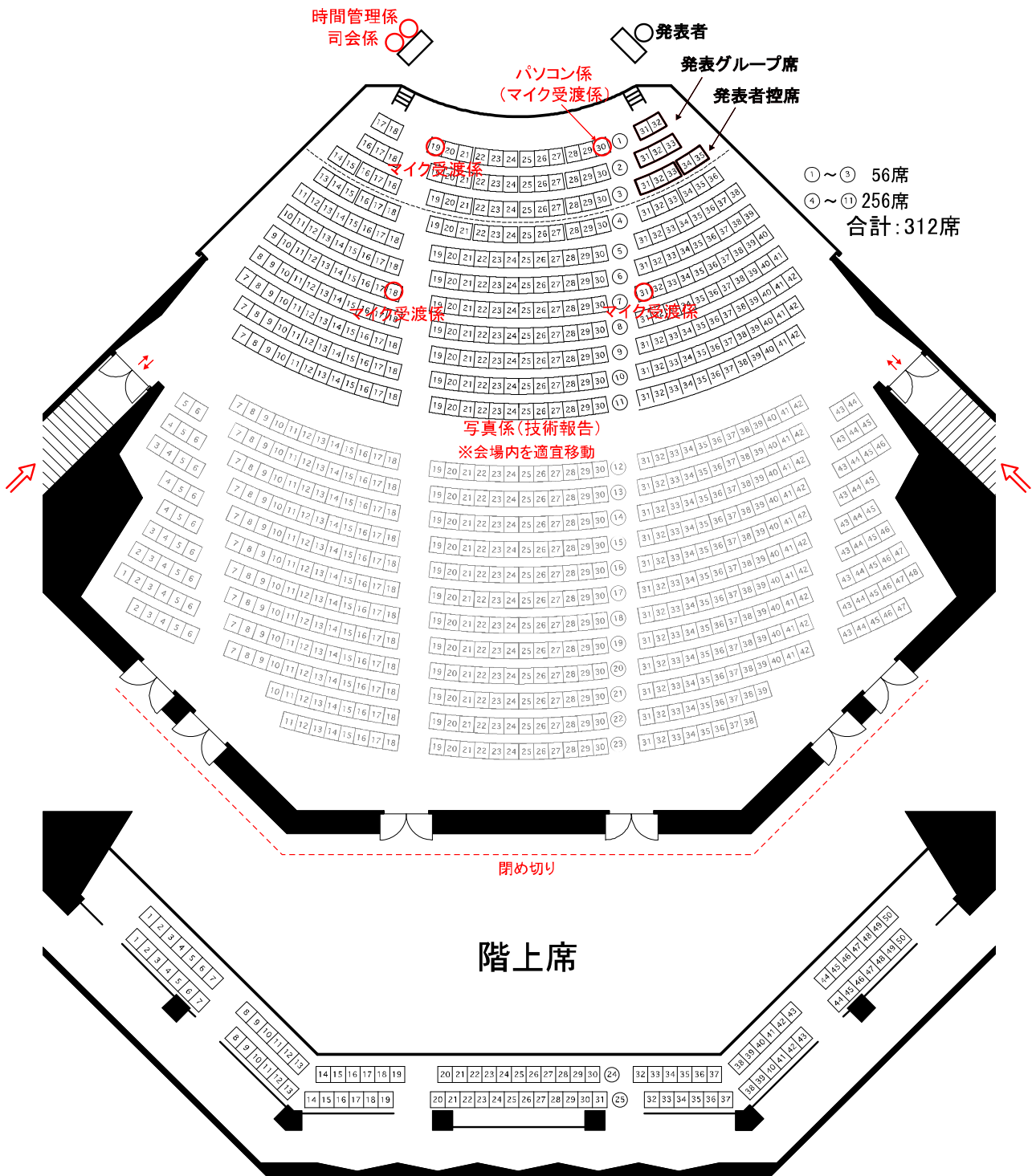
来賓控室/事務局控え



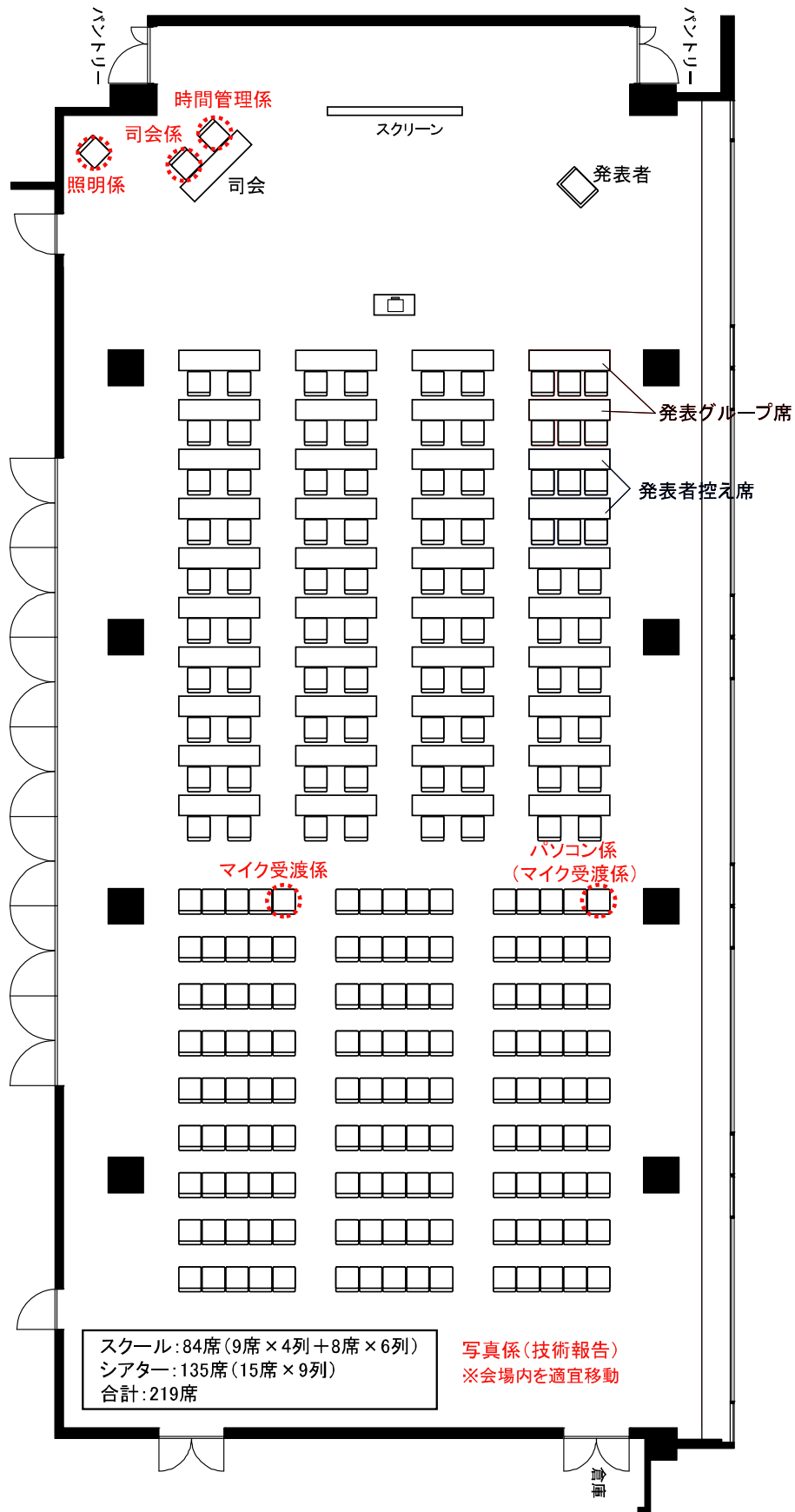
アンケート回収所 (第2会場)

■会場詳細レイアウト図—技術報告時—

■ホール棟1階 ホール（第1会場）



■会議・展示棟2階 大集会室（第2会場）



4. 広報

1) 広報活動

	種別・内容	方法	時期	摘要
チラシ配布	報告技術募集用 (北技HP掲載)	配布・募集	5月21日～	実行委員会 主催機関・団体
	聴講募集用 (紙・電子データ)		8月24日～	
定期刊行誌	北陸の建設技術	掲載	8月号(聴講募集) 10月号(開催のお知らせ) 12月号(開催結果)	
	各主催機関・団体	掲載依頼	適宜	
記者クラブ	新潟県政記者クラブ 新潟県政記者クラブ 富山県政記者クラブ 石川県政記者クラブ 山形県政記者クラブ 長野県政記者クラブ 福島県政記者クラブ 岐阜県政記者クラブ 福井県政記者クラブ	記者発表	10月22日	開催概要 プログラム
ホームページ	北陸技術事務所	開設・運用	5月21日～(報告技術募集) 9月24日～(聴講募集)	
	各主催機関・団体		適宜	

2) 広報等掲載一覧

■新聞報道

掲載紙	発行機関	掲載月日
日刊建設工業新聞	日刊建設工業新聞社	平成24年5月23日(水)
建設通信新聞	日刊建設通信新聞社	平成24年10月25日(木)
日刊建設工業新聞	日刊建設工業新聞社	平成24年11月1日(木)
北陸中日新聞	中日新聞北陸本社	平成24年11月1日(木)

※取材 北陸中日新聞社、北国新聞社、日刊建設工業新聞社

■定期刊行誌

掲載紙	発行機関	掲載号
北陸の建設技術	北陸地方建設事業推進協議会	8月号(聴講募集) 10月号(開催のお知らせ) 12月号(開催結果)

■ホームページ

掲載機関	掲載コンテンツ
(一社)日本建設機械施工協会北陸支部	「What's news」、「トップ(バナー掲載)」
(社)新潟県建設業協会	「新着情報」
(社)富山県建設業協会	「新着情報」
(社)石川県建設業協会	「新着情報」
北陸土木コンクリート製品技術協会	「トップ(バナー掲載)」
(社)新潟県融雪技術協会	「トップ(バナー掲載)」
(財)新潟県建設技術センター	「トップ(バナー掲載)」
(社)北陸建設弘済会	「トップ(バナー掲載)」
国土交通省北陸地方整備局	「トップ(バナー掲載)」
国土交通省新潟港湾空港技術調査事務所	「トップ(バナー掲載)」
国土交通省北陸技術事務所	「トップ(バナー掲載)」

HP掲載事例

国土交通省 北陸地方整備局
 Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism Hokkaido Regional Development Bureau

防災 | 地域・まち・住まいづくり | 技術・建設産業 | 河川 | 道路 | 港湾空港 | 環境 | 用地

防災情報
 ライブカメラ

国土形成計画 | 公共事業の取組状況 | 入札・契約情報 | 入客案内 | 整備局の紹介

国道253号八箇峠道路で発生した工事故について

新着情報
 平成24年9月24日 入札公告(物品・役務)を掲載しました。 **New**
 平成24年9月27日 水文・水質状況(H4.08)を更新しました。 **New**
 平成24年9月18日 入札公告(物品・役務)を掲載しました。
 平成24年9月14日 「国土の形成計画」による建設活動に関する取組状況の公表

記者発表
 平成24年9月24日 平成24年度 秋田県建設関係 建設関係者安全大会を開催します【PDF118KB】(新潟県建設局)
 平成24年9月24日 天吾発生時被災状況調査に出動する「バック調査隊訓練実施」【PDF207KB】(国土交通省建設局)

東北地方の建設産業の取組状況
 建設産業の取組状況
 建設産業の取組状況
 建設産業の取組状況

建設産業の取組状況
 建設産業の取組状況
 建設産業の取組状況

建設産業の取組状況
 建設産業の取組状況
 建設産業の取組状況

北陸地方整備局 (トップページ)

平成24年度 国土交通省北陸地方整備局 各都・県庁等参加イベント等実施予定表(主催以外含む)

開催日・期間	イベント名称	主催者	会場	実施形式	開催形態	参加者	イベント内容	イベントの開催目的(主催者側)	イベントの開催目的(参加者側)	問い合わせ先	備考
2012.10.29	平成24年度 建設技術報告会	国土交通省北陸地方整備局	北陸地方整備局	講演会	対面	建設関係者	建設技術報告会	建設技術報告会	建設技術報告会	建設技術報告会	建設技術報告会
H24.11	「公共施設の自立及び高度化」	国土交通省北陸地方整備局	北陸地方整備局	講演会	対面	建設関係者	建設技術報告会	建設技術報告会	建設技術報告会	建設技術報告会	建設技術報告会
H24.11	IT導入セミナー	国土交通省北陸地方整備局	北陸地方整備局	講演会	対面	建設関係者	建設技術報告会	建設技術報告会	建設技術報告会	建設技術報告会	建設技術報告会
2012.11.14	国土交通省北陸地方整備局 建設技術報告会	国土交通省北陸地方整備局	北陸地方整備局	講演会	対面	建設関係者	建設技術報告会	建設技術報告会	建設技術報告会	建設技術報告会	建設技術報告会

北陸技術事務所 (トップページ)

国土交通省 北陸地方整備局
 Hokkaido Technical Office

ホーム | 新着情報 | あなたの最近にお知らせ | 技術の取組と活用/NETIS | 事務所のご案内 | 入札・契約情報

お知らせ
 平成24年9月19日 国土交通省建設技術報告会「新着情報」掲載されました。
 平成24年9月14日 入札公告(物品・役務)を掲載しました。
 平成24年9月18日 入札公告(物品・役務)を掲載しました。
 平成24年9月18日 入札公告(物品・役務)を掲載しました。
 平成24年9月24日 「国土の形成計画」による建設活動に関する取組状況の公表

建設技術報告会
 建設技術報告会
 建設技術報告会

建設技術報告会
 建設技術報告会
 建設技術報告会

建設技術報告会
 建設技術報告会
 建設技術報告会

ISHIKAWA GENERAL CONSTRUCTION ASSOCIATION
 石川県建設業協会

What's New 新着情報

建設技術報告会について(2012.9.14)
 北陸地方建設者会 建設技術報告会
 詳細はこちら

建設業式典及びセミナー開催等について(2012.9.11)
 国土交通省 北陸地方整備局
 詳細はこちら

省営共有システムを用いた電子納品講習会開催について(2012.9.7)
 本講習会は土木施工管理技士の継続学習制度(GPDS)のポイント対象(3ユニット)
 詳細はこちら
 カリキュラムはこちら

電子納品講習会(基礎・納品)開催について(2012.9.1)
 本講習会は土木施工管理技士の継続学習制度(GPDS)のポイント対象(14.2ユニット)
 詳細はこちら
 カリキュラムはこちら

省営共有システムを用いた電子納品講習会開催について(2012.8.7)
 本講習会は土木施工管理技士の継続学習制度(GPDS)のポイント対象(3ユニット)
 詳細はこちら
 カリキュラムはこちら

再生可能エネルギー導入に係る固定価格買取制度説明会について(2012.8.6)
 石川県企業振興課 再生可能エネルギー対策室
 詳細はこちら
 申込書はこちら

北陸地方整備局発注の工事の入札契約及び募集に関する説明会について(2012.8.6)
 国土交通省 北陸地方整備局
 詳細はこちら
 申込書はこちら

建設業のコンプライアンスに関する講習会について(2012.8.6)
 石川県土木部 監理課
 詳細はこちら
 申込書はこちら

(社)石川県建設業協会 (新着情報)

(社)新潟県融雪技術協会

ホーム | Home
 ごあいさつ | Greeting
 主な事業 | Duties
 マニュアルのご案内 | Manual aspect
 技術開発 | Development
 経理・会員 | Organization
 技術講習会・研修会 | Training
 お問い合わせ | Contact

消雪技術で住みよい社会を。

散水消雪施設の維持管理歩留資料
 改訂発行のご案内
 「散水消雪施設設計施工・維持管理マニュアル」が平成20年5月に改訂されたのを、平成24年5月に改訂された「散水消雪施設の維持管理歩留資料」について多岐にわたる改訂を行いました。

散水消雪施設設計施工マニュアル
 改訂発行のご案内
 平成24年3月に発行した「散水消雪施設設計施工マニュアル」が平成24年5月に改訂されたのを、平成24年5月に改訂された「散水消雪施設の維持管理歩留資料」について多岐にわたる改訂を行いました。

平成24年度技術講習会のご案内
 平成24年9月24日
 場所: 新潟県庁 24号館
 講師: 建設技術報告会
 詳細はこちら

人に優しい道を演出
 新潟県建設技術協会
 建設技術報告会

(社)新潟県融雪技術協会 (トップページ)

新技術・新工法を募集

10月に金沢で建設技術報告会

北陸地方整備局や新 潟、富山、石川の3県、 業団体らで構成する北 陸地方建設事業推進協 会は、12年度「建設技 術報告会」を金沢市文化ホ ールで10月31日に開催す るのに先立ち、建設分野 に関する新技術・新工法 などの募集を開始した。 同報告会は、北陸地方

（建設副産物、リサイク ル、省エネルギー）に関す る新技術等、④ゆとりと 福祉（情報化、バリアフ ィー）に関する新技術等、 ⑤その他（ゆとりと福祉、 それに属さない④その他 ①～③に属さない新技 術）のテーマに限ら ず募集、募集期限は6 月29日まで、問い合わせ は、北陸技術事務所内の 同実行委員会事務局（TEL 076-2381118）。

31日に建設技術報告会

6テーマ36件発表

北陸地方の建設業各団 体、官民が、なで構守る建設技術研 究会として、新技術・新工法を 発表する建設技術報告会が、25日、金沢市の文化ホ ールで開かれた。 同報告会は、北陸地方 17回目を迎える。 「雪 に強い地盤工法」も、 「雪 の安心」「自然害からの 安全確保」「環境の保全」 法「ゆとりと福祉」の 他、6テーマを盛り、36技 術の発表と新技術パネル展 示が行われる。また、同報 告会では、北陸地方整備 局企画部の総務利技術課 管理官が「最近の国土交通 行政の取り組み」と題 して基調講演する。

時間：午前9時30分～午後 4時40分まで。CPD（継 続教育単位）とCPDS（継 続教育単位）の取得用として 認定講習となる。参加は無料。 定員は300名。参加は無料。 会場では申し込みを受け付け る。問い合わせは北陸地方整 備局北陸技術事務所・電話076- 2381118。

発表技術は次のとおり。分 科内容は、①土木・建築・ ②土木・建築・③土木・建築 など。（※1会場）

- ▽新技術・新工法に関する 取り組みについて（北陸地方整備 局企画部）
- ▽土木・建築（1）
- ▽土木・建築（2）
- ▽土木・建築（3）
- ▽土木・建築（4）
- ▽土木・建築（5）
- ▽土木・建築（6）
- ▽土木・建築（7）
- ▽土木・建築（8）
- ▽土木・建築（9）
- ▽土木・建築（10）
- ▽土木・建築（11）
- ▽土木・建築（12）
- ▽土木・建築（13）
- ▽土木・建築（14）
- ▽土木・建築（15）
- ▽土木・建築（16）
- ▽土木・建築（17）
- ▽土木・建築（18）
- ▽土木・建築（19）
- ▽土木・建築（20）
- ▽土木・建築（21）
- ▽土木・建築（22）
- ▽土木・建築（23）
- ▽土木・建築（24）
- ▽土木・建築（25）
- ▽土木・建築（26）
- ▽土木・建築（27）
- ▽土木・建築（28）
- ▽土木・建築（29）
- ▽土木・建築（30）
- ▽土木・建築（31）
- ▽土木・建築（32）
- ▽土木・建築（33）
- ▽土木・建築（34）
- ▽土木・建築（35）
- ▽土木・建築（36）

北陸地整局など 建設技術報告会

北陸地方整備局や 県、建設関係団体など による「北陸地方建設 事業推進協議会」の建 設技術報告会が21日、 金沢市高岡町の市 文化ホールで開かれ、 約五百人が出席した。 報告会では、建設関係の企業など が開発した技術を広く 知ってもらう、普及を 促そうと企画してお り、今回が七回目。 「環境の保全」「創造」「自然災害からの安全 確保」「ゆとりと福祉」



500人が参加した報告会。金沢市文化ホール

新工法・新技術の活用促進へ

建設技術報告会開く

北陸地方整備局や新 潟、富山、石川の3県、 業団体らで構成する北 陸地方建設事業推進協 会は、12年度「建設技 術報告会」を金沢市文化ホ ールで10月31日に開催す るのに先立ち、建設分野 に関する新技術・新工法 などの募集を開始した。 同報告会は、北陸地方 17回目を迎える。 「雪 に強い地盤工法」も、 「雪 の安心」「自然害からの 安全確保」「環境の保全」 法「ゆとりと福祉」の 他、6テーマを盛り、36技 術の発表と新技術パネル展 示が行われる。また、同報 告会では、北陸地方整備 局企画部の総務利技術課 管理官が「最近の国土交通 行政の取り組み」と題 して基調講演する。

「ゆとりと福祉」の活用促進へ、新技術・新工法の活用促進を目的として、建設技術報告会を開催する。報告会では、建設関係の企業などが開発した技術や新工法を広く知ってもらう、普及を促そうと企画しており、今回が七回目。環境の保全、創造、自然災害からの安全確保、ゆとりと福祉などのテーマを掲げ、36件の新技術・新工法を発表する。また、新技術パネル展も開催される。報告会では、北陸地方整備局企画部の総務利技術課管理官が「最近の国土交通行政の取り組み」と題して基調講演する。

5. アンケート

次回以降の開催の参考とするため、聴講者を対象にアンケート調査を実施した。

1) 設問内容

北陸地方建設事業推進協議会
「平成24年度 建設技術報告会」アンケート

建設技術報告会にご参加いただき誠にありがとうございます。
今後の参考とさせていただきますため、アンケート調査にご協力下さい。

*回答は、記述式の設問以外は該当する記号を○で囲んでください。

問1. 職業・職種をお聞かせ下さい。
A. 国土交通省職員 B. 県職員 C. 市町村職員 D. 公団職員
E. A～Dに属さない官公庁（機関名）
F. 建設関連の会社（技術職） G. 建設関連の会社（事務職）
H. 建設関連の協会・団体 I. その他（ ）

問2. 主な仕事の分野をお聞かせ下さい。
A. 河川 B. 道路 C. 砂防 D. 港湾空港 E. 雪種
F. 上下水道 G. 共通（ ） H. その他（ ）

問3. どちらから来られましたか。
A. 金沢市内 B. 金沢市を除く石川県内（ ） C. 新潟県
D. 富山県 E. その他（ ）

問4. この報告会を何で知りましたか。
A. 協会・団体からの案内 B. ホームページ C. チラシ
D. 国土交通省・県・市からの案内 E. くらこみ F. その他（ ）

問5. この報告会の参加回数をお聞かせ下さい。
A. 初めて B. 2～5回 C. 5～10回 D. 10回以上

問6. 建設事業への新技術導入の必要性についてお聞かせ下さい。
A. 必要性を感じる B. 多少感じるが急務の問題ではない C. 特に問題意識はない

問7. 上記の問6. で「A. 必要性を感じる」または「B. 多少感じるが急務の問題ではない」に○をされた方にお聞きします。どの分野に必要性を感じますか（複数回答可）。
A. 雪に強い地域づくり・・・「大雪対策技術」、「冬期道路交通の安全確保」等
B. 良いものを安く・・・「コスト削減技術」、「省力化技術」、「生産性向上技術」等
C. 自然災害からの安全確保・・・「土石流などからの防災技術」、「災害対策技術」、「危機管理技術」等
D. 環境の保全と創造・・・「リサイクル技術」、「省エネルギー技術」、「環境整備技術」等
E. ゆとりと福祉・・・「生活者の安全健康技術」、「情報化技術」等
F. その他（ ）

問8. 新技術導入の障害となっているものがあるものとすれば、それは何かお聞かせ下さい。
A. 経費的なもの B. 機体系等制度的なもの C. 新技術に関する情報不足（工法選定 etc）
D. その他（ ）

（裏面の記入をお願いします。）

(オモテ面)

問9. 今回の報告会を聴講して、特に現場で採用してみたい技術や興味を持った技術、関心の高かった技術を3題まで選んでご記入下さい。

1. 報告技術名〔 〕
会社名〔 〕
2. 報告技術名〔 〕
会社名〔 〕
3. 報告技術名〔 〕
会社名〔 〕

問10. 報告会の開催時期についてお聞かせ下さい。
A. 今の時期が良い B. その他（ 月の 上旬 ・ 中旬 ・ 下旬 ）

問11. 報告技術1題あたりの報告時間（質疑応答含む15分間）についてお聞かせ下さい。
A. 長い B. 適当 C. 短い

問12. この報告会の開催についてお聞かせ下さい。
A. 今後も続けて欲しい B. 特に開催の必要性を感じない C. 内容を改善して続けて欲しい

問13. 上記の問12. で「B. 特に開催の必要性を感じない」「C. 内容を改善して続けて欲しい」に○をされた方にお聞きします。理由またはどのような内容を望まれていますか。
〔 〕

問14. 基調講演についてお聞かせ下さい。
A. 今後も続けて欲しい B. 特に必要ない C. 講演内容を改善して欲しい

問15. 発表形式や会場設置についてお聞かせ下さい。
A. とても良かった B. 良かった C. あまり良くなかった
「C. あまり良くなかった」を選択された方（理由： ）

問16. 新技術を紹介するパネル展示コーナー及びNETIS等登録技術紹介コーナーについてお聞かせ下さい。
A. とても良かった B. 良かった C. あまり良くなかった
「C. あまり良くなかった」を選択された方（理由： ）

問17. この報告会全体で感じたことや意見等ご自由にご記入下さい。
〔 〕

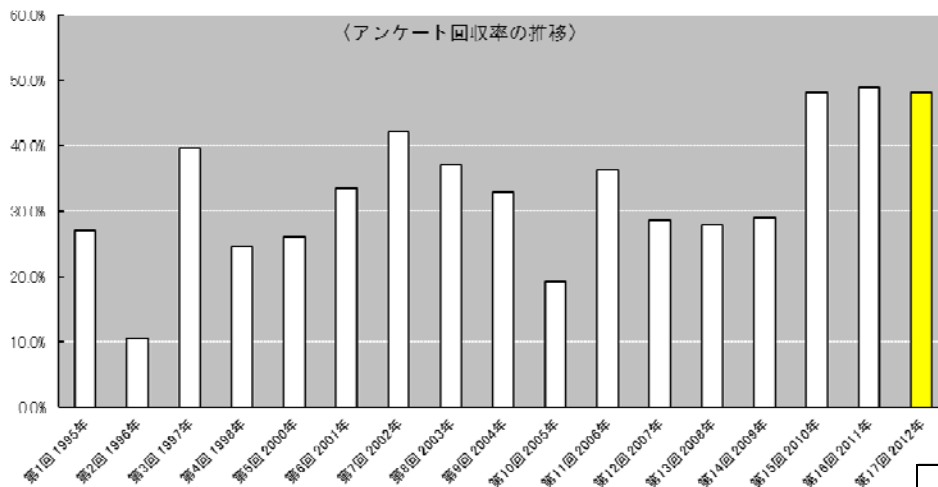
ご協力ありがとうございました。この用紙はロビーに設置していますアンケート回収箱に投函願います。
なお、後日回答のご協力を頂ける方は、以下のFAX番号に返信して下さい。
FAX：025-231-1283

『平成24年度 建設技術報告会』実行委員会

(ウラ面)

2) 配布・回収

アンケートは受付時に聴講者に配布し、第1会場及び第2会場前ロビー（ホワイエ）に設置した回収箱により回収を行った。なお、アンケート回収率は以下のとおりである。



	官公庁	民間	計
配布数	146	319	465
回答数	63	161	224
回収率	43.2%	50.5%	48.2%

3) アンケート結果概要

【アンケート配布・回収結果】まとめ

- ① アンケート配布数は、465枚、回収数は224枚、回収率は48%。

○職業・職種・参加者の住所等

- ① 聴講者の職業・職種では、約72%が民間（昨年84%）
- ② 官公庁の聴講者が28%と昨年と比較し12ポイントアップ（昨年16%）
- ③ 聴講者の主な分野では、道路43%、河川16%、港湾空港11%の順
- ④ 聴講者は、金沢市内が32%、金沢市を除く石川県内が21%、新潟県19%、富山県19%の順
※前回、新潟市開催では、新潟県85%、富山県6%、石川県4%
- ⑤ 報告会を何で知ったかは、協会団体からの案内が56%、国交省・県・市からの案内が33%であった。官公庁からの案内は昨年度と比較し12ポイントアップしている。

○新技術導入及び分野、新技術導入の障害

- ① 建設事業への新技術導入の必要性については、約8割が必要を感じている。
- ② どの分野に必要性を感じているかについては、「良い物を安く」が35%、「自然災害からの安全確保」が24%、「環境との保全と創造」が22%の順となり昨年度と同じ傾向となった。
- ③ 新技術導入の障害となっているのは、「経費的なもの」が38%、「積算体系等制度的なもの」が29%、「新技術に関する情報不足」が23%と昨年と同じ傾向となった。

○今後の報告会と開催時期、開催場所、発表時間

- ① 開催時期については「今の時期が良い」が約8割、「その他の時期」が約2割。
- ② 1題あたりの報告時間については、約9割が適当と回答。
- ③ 報告会の開催については、約9割が「今後も続けてほしい」と回答。

○基調講演について

- ① 基調講演は約8割が「今後も続けてほしい」と回答。
- ② 基調講演への意見としては
 - ・基調講演は開催地にまつわる内容がよい
 - ・大学の先生等のお話が聞きたい
 - ・テキストがほしい

○報告会の報告形式や会場設営について

- ① 報告会の報告形式や会場設営について、約9割が「良かった」と回答。
- ② 「あまり良くなかった」と回答した方の主な意見
 - ・会場に無料駐車場がない
 - ・プログラムの文字が小さい
 - ・第1会場も第2会場の移動時間がない、2つの会場が離れている

○パネル展示コーナー、NETIS等登録技術紹介コーナーについて

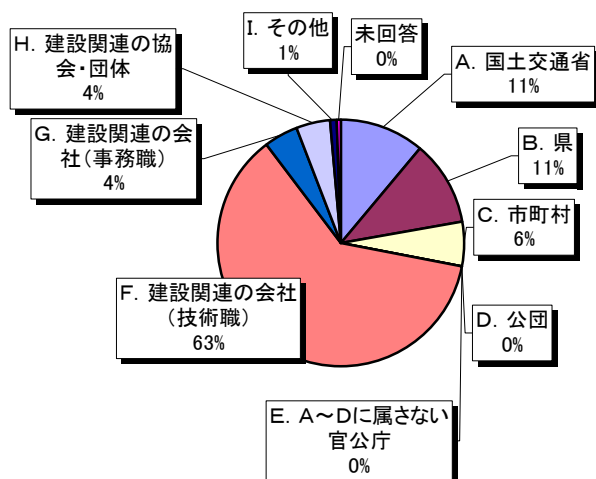
- ① 両コーナーについては、約9割が「良かった」と回答
- ② 「あまり良くなかった」と回答した方の主な意見
 - ・分野別に整理されていない
 - ・模型、PC、ビデオなど視覚に訴えるものを
 - ・スペースが狭い
 - ・説明者がいた方がよい

○この報告会全体で感じたことや意見等の自由意見（今後の課題抜粋）

- ・発表も分野別にまとめてほしい。
- ・北陸のプロジェクト工事や北陸にかんする発表が少ない
- ・地元企業の発表が少ない
- ・基調講演、発表内容の資料がほしい

4) 設問別集計結果

問1. 職業・職種をお聞かせ下さい。

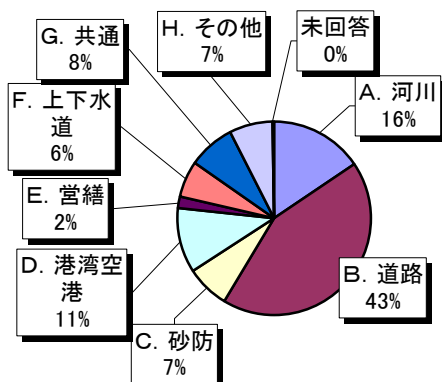


A. 国土交通省	25
B. 県	25
C. 市町村	13
D. 公団	0
E. A~Dに属さない官公庁	0
F. 建設関連の会社(技術職)	138
G. 建設関連の会社(事務職)	10
H. 建設関連の協会・団体	10
I. その他	2
未回答	1
	224

その他

- ・コンサルタント(1)
- ・インターンシップ(1)

問2. 主な仕事の分野をお聞かせ下さい。



【複数回答有】

A. 河川	44
B. 道路	121
C. 砂防	21
D. 港湾空港	30
E. 営繕	6
F. 上下水道	17
G. 共通	22
H. その他	20
未回答	1
	282

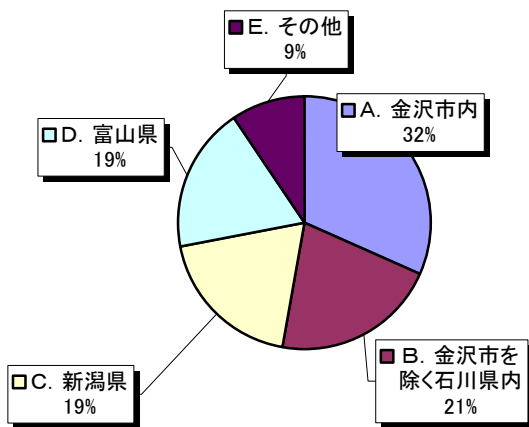
共通

- ・一般土木(3)
- ・盛土・土工(1)
- ・コンクリート構造物(1)
- ・地盤調査(1)
- ・明かり(1)

その他

- ・コンクリート製品(2)
- ・橋梁(2)・積算(1)
- ・建築(1)・工質(1)
- ・電力(1)・地質調査・解析(1)
- ・海岸(1)・通信(1)
- ・防災(1)・道路消雪(1)

問3. どちらから来られましたか。



A. 金沢市内	71
B. 金沢市を除く石川県内	47
C. 新潟県	43
D. 富山県	42
E. その他	21
	224

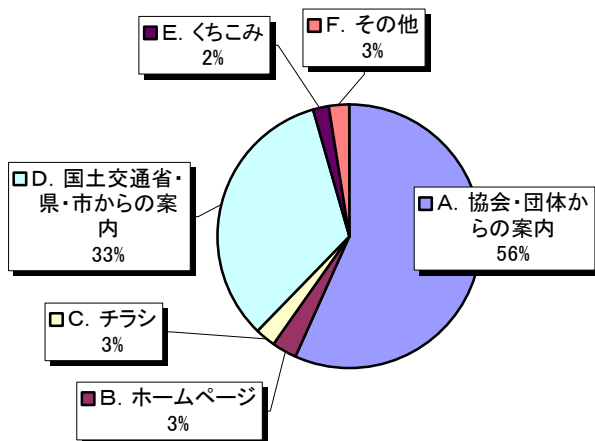
金沢市を除く石川県内

- ・小松市(5) ・白山市(5)
- ・加賀市(1) ・珠洲市(2)
- ・七尾市(2) ・川北町(3)
- ・能美市(1) ・津幡町(1)
- ・胎内市(2) ・見附市(1)
- ・羽咋郡(1) ・未回答(12)

その他

- ・東京都(7) ・福井県(8)
- ・長野県(1) ・埼玉県(1)
- ・茨城県(2) ・未回答(2)

問4. この報告会を何で知りましたか。



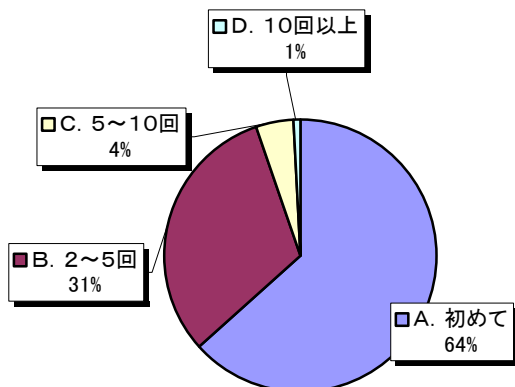
【複数回答有】

A. 協会・団体からの案内	129
B. ホームページ	7
C. チラシ	6
D. 国土交通省・県・市からの案内	76
E. くちこみ	4
F. その他	6
	228

その他

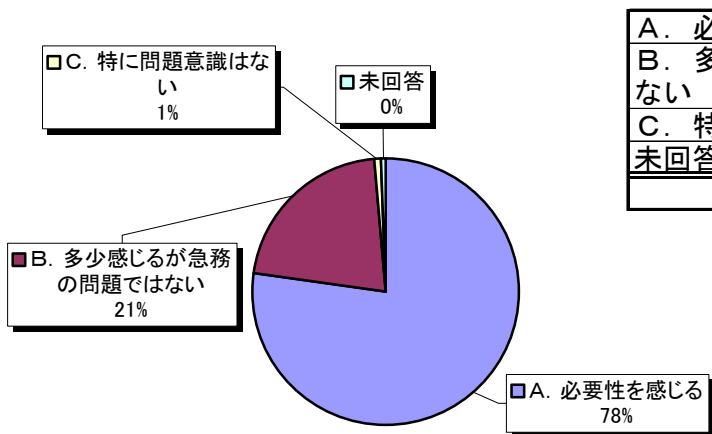
- ・会社(4)
- ・CPD関連(1)
- ・未回答(1)

問5. この報告会の参加回数をお聞かせ下さい。



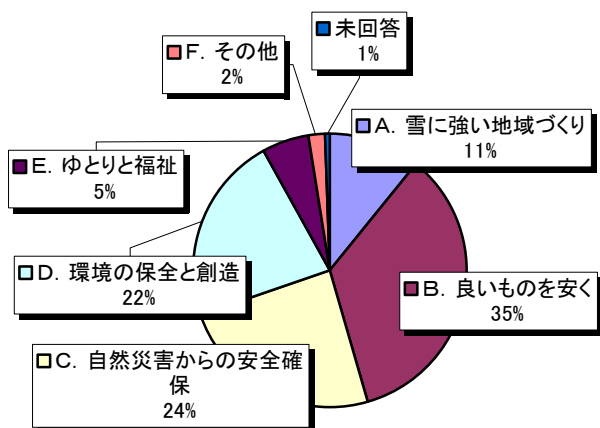
A. 初めて	141
B. 2~5回	70
C. 5~10回	10
D. 10回以上	2
	223

問6. 建設事業への新技術導入の必要性についてお聞かせ下さい。



A. 必要性を感じる	173
B. 多少感じるが急務の問題ではない	48
C. 特に問題意識はない	2
未回答	1
	224

問7. どの分野に必要性を感じますか。



【複数回答有】

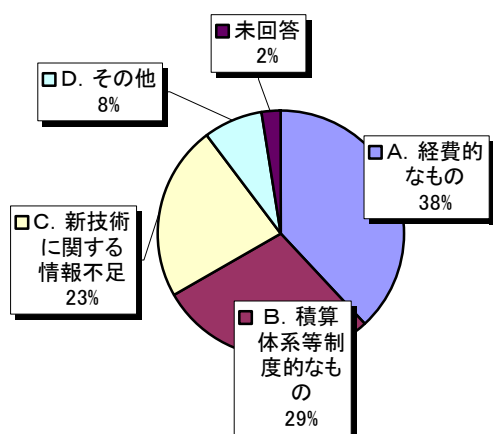
A. 雪に強い地域づくり	48
B. 良いものを安く	152
C. 自然災害からの安全確保	105
D. 環境の保全と創造	98
E. ゆとりと福祉	24
F. その他	8
未回答	3
	438

その他

- ・作業員の安全、工事事務の防止
- ・安くには限界がある。適正な価格。
- ・エンドユーザーへの「土木の必要性」、「適応価格」のアピール
- ・施工性の向上
- ・構造物の維持管理
- ・人材不足に伴う省力化
- ・技術力向上による国家間競争へのWIN
- ・若年者の業界離れに拍車をかける

問8. 新技術導入の障害となっているものがあるとすれば、それは何かお聞かせ下さい。

【複数回答有】

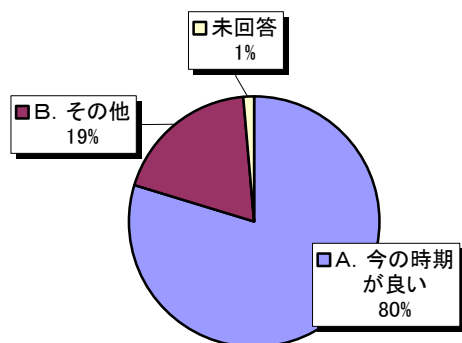


A. 経費的なもの	108
B. 積算体系等制度的なもの	81
C. 新技術に関する情報不足	65
D. その他	22
未回答	7
	283

その他

- ・実績がないと採用されにくい(同様他1件)
- ・全産業の観点での開発＝他産業の技術とのコラボ
- ・リサイクルできないものが多い
- ・発注者の理解(同様他1件)
- ・認定制度そのものがわかりにくく、ハードルが高い割に認定そのものの活用が行われていないので広まっていない。認定であって行政のフォローがない。
- ・ニーズサイドと供給サイドでの共有不足
- ・構造物の構造計算について、外部に説明が難しい製品がある。
- ・特に保全に対し労務体系確立(極少数)に対し現状とあっていない。
- ・信頼性、耐久性、発注側コンサル側の理解不足、ガイドラインマニュアルなどが無いから。
- ・コスト縮減技術だけが新技術ではなく、費用対効果で評価すべき。
- ・前例がないから採用できないという官公庁の姿勢
- ・現場の減少
- ・政治、地域事情的なもの
- ・国、県、市
- ・耐久性・持続性の経験や実績の裏付けによる担保、妥当性
- ・入札制度
- ・新技術に対する前向きな意識の欠如

問10. 報告会の開催時期についてお聞かせ下さい。



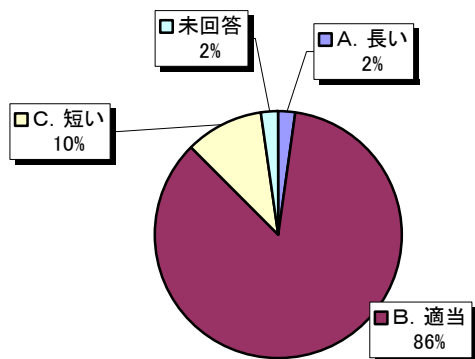
A. 今の時期が良い	168
B. その他	40
未回答	3
	211

その他

- ・6月(19)
- ・5月(7)
- ・10月上旬(6)
- ・4月(6)
- ・9月(1)
- ・12月(1)
- ・1月(1)
- ・2月(1)

※問9は発表の中で現場で活用したいと感じた技術について

問11. 報告技術1題あたりの報告時間についてお聞かせ下さい。

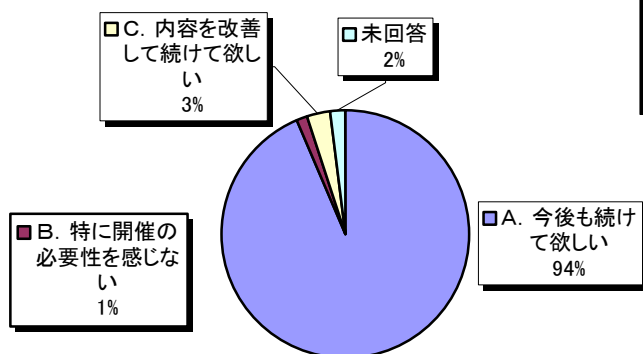


A. 長い	5
B. 適当	186
C. 短い	22
未回答	5
	218

意見

- ・報告時間を各々長くし、詳細な説明をしてほしい。

問12. この報告会の開催についてお聞かせ下さい。



A. 今後も続けて欲しい	207
B. 特に開催の必要性を感じない	3
C. 内容を改善して続けて欲しい	7
未回答	4
	221

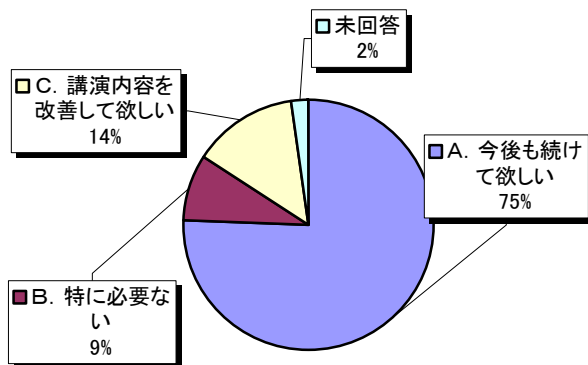
問13. 問12で「B」または「C」と答えた方にお聞きします。
理由またはどのような内容を望まれていますか。

- ・新技術の情報の開示
- ・分野別で複数開催してほしい。(興味のある分野だけは全部聴講したい。)
- (同様意見他1件)

【番外編】

- ・動員要請はやめてほしい。

問14. 基調講演についてお聞かせ下さい。

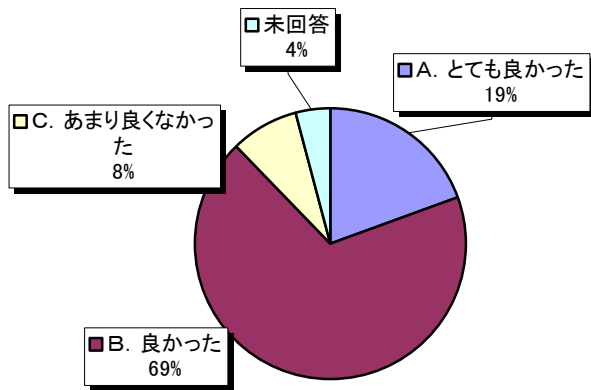


A. 今後も続けて欲しい	166
B. 特に必要ない	19
C. 講演内容を改善して欲しい	30
未回答	5
	220

意見

- ・基調講演のパワーポイントは文字が小さい。見にくい。(同様意見他1件)
- ・基調講演は開催地にまつわる内容がよい。
- ・基調講演については、大学の先生等のお話が聞きたい。
- ・基調講演が1時間、間に休憩を挟んでほしい。
- ・基調講演のテキストがほしい。

問15. 発表形式や会場設営についてお聞かせ下さい。

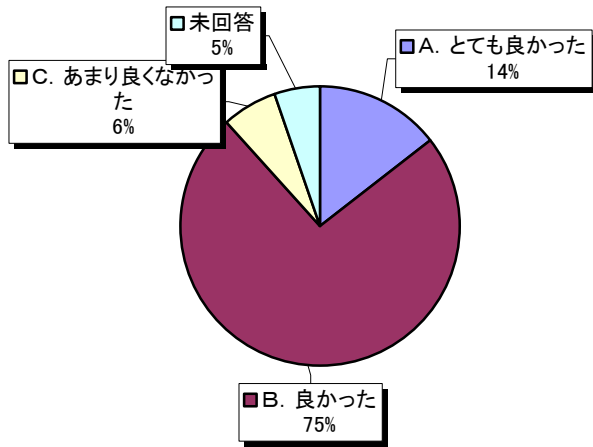


A. とても良かった	43
B. 良かった	151
C. あまり良くなかった	18
未回答	9
	221

Cの理由

- ・配布されたプログラムの文字が小さい。(同様意見他1件)
- ・駐車場がない。(同様意見他2件)
- ・第1会場と第2会場の移動時間がない。(同様意見他1件)
- ・2つの会場が離れている。

問16. 新技術を紹介するパネル展示コーナー及びNETIS等登録技術紹介コーナーについてお聞かせ下さい。



A. とても良かった	32
B. 良かった	165
C. あまり良くなかった	14
未回答	12
	223

Cの理由

- ・雑然となっている。分野別に整理が必要。
- ・パネルの拘束期間が長い。
- ・パネルが少ない
- ・パンフレットの部数が少なく、品切れ状態だった（同様意見他2件）
- ・視覚に訴えてほしい。模型、PC、ビデオなど。
 - ・さみしい。暗くて狭い。
- ・スペースが狭く、ゆっくり見られない。（同様意見他2件）
- ・NETIS等登録技術コーナーがパネル展示コーナーに比べ目立たない。
- ・展示のみで質問する時の対応がない。
- ・人が居たほうが良い。
- ・パネル展示に独創的なものがない。

問17. この報告会全体で感じたことや意見等ご自由にご記入下さい。

- ・発表も分野別にまとめてほしい。交互に1、2会場を移動するため質疑が聞けなかった。
- ・発表スタート時間は厳守してください！
- ・終了時間が遅いので、遠方からの来場者にも考慮してほしい。
- ・質問時間、入替時間が短く、会場間の移動で聞き取れない部分があった。
- ・希望者だけでよいので、第3会場として現場会場を設けて、実際に目で見れるようにしたいと思います。
- ・官民間わず、エンドユーザーへのアピールが必要だと感じた。
- ・各業種の色々な技術報告が聞けて良かった。
- ・プレゼン資料の字が小さすぎるものがいくつかあり、読みづらいと感じた。(前方から数列目に座っていてそのような状況であった。)
- ・初めての参加であったが今後も出席したい。参考となる事例が多く非常に有意義であった。
- ・北陸地区のプロジェクト工事(能越道路、福井港など)他では多くの新しい工法・調査が行われているがその事例が少なかったことは残念である。地元企業の発表もない。
- ・座席が硬く、お尻が痛い。
- ・第1会場が大きすぎるのでは。また会場が2つあることで聞きたい話が重複して聞けないこともあった。1会場にすることを検討してはどうか。
- ・会場の椅子は固く、長時間はつらい。
- ・基調講演は重要な事項説明であったが、パワーポイントが文章の羅列のみでわかりづらい。
- ・出来れば、配布資料は厚くなるが発表内容のパワーポイントも欲しい。
- ・司会からの質問のみでは活性化しない。発表テーマを工夫すべき。
- ・適用工事の施工前後や効果をビジュアルに示したものがあったほうが良い。
- ・構造物に関する事例も発表してほしい。
- ・有意義でした。テーマ別に会場を分けてほしい。プログラムの字が小さすぎてみえません。
- ・春秋2回に分散、または加賀、能登、金沢3会場に分ける等工夫すればもっと現場所長レベルの参加が可能となる。
- ・建設業界による様々な専門分野の概要が聞けて良かったです。
- ・初めての参加でしたが興味深く有意義でした。
- ・現在の国土行政のあり方、震災後の新技術を知ることができ、ためになった。
- ・舗装に関する技術は地方の小さな企業にすれば普及すると思いました。
- ・会場内の椅子が硬いため長時間の講演を聴くのはムリ。
- ・2会場となっており、聴講したいテーマの発表が重なっていた。
- ・もっと報告会を増やしてほしい。(参考に出来る内容が多くてよかった。)
- ・他社技術非常に勉強になる。今後も内容が広範囲にわたることを希望します。
- ・非常に勉強になった。使いたい技術がたくさんあり有意義であった。
- ・初めて参加させてもらいましたが、内容が盛りだくさんで大変勉強になりました。今後も続けて頂いて、また参加させてもらいます。
- ・第1会場のような場所だと、広すぎて自由に質問がづらい。北陸でのCDP講演会を増やしてほしい。
- ・会場の都合もあるでしょうが、せっかくの企画なので、もう少し工夫してもらえると良いと思いました。
- ・NETISの活用状況について(利点・問題点)の話が聞きたい。
- ・今後もこのような会を開いて頂いて、多くの技術者にも聞いてもらいたい。
- ・課題の概要があったら良かった。(資料として)
- ・駐車場が少ないため、駐車場整備が行われた会場で行って欲しい。
- ・質疑応答時間を増やしてもいいのでは？
- ・総合的にどれも変わりばえしない。
- ・CPD取得のために来たが新しいことが学べて良かった。報告者の仕事への取組など勉強になった。
- ・設営されたスタッフの皆様へ、大変にご苦労さまでした。